

2015年10月29日

保護者の皆様へ

2014年度 アンケート結果のご報告

大阪産業大学附属高等学校
校長 大西 陽太郎

秋涼の候、保護者の皆様にはますますご清祥のことと存じます。平素は本校教育活動に深いご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

本校の建学の精神である「偉大なる平凡人たれ」という言葉は、平凡な日常生活をきちんと送っていくことこそ偉大なことである、地道にたゆまず努力していくことは偉大なことであると教えています。この建学の精神のもと、学力の定着・向上はもちろんですが、「当たり前前の方が当たり前前ができる」人間性を養う教育を行っています。そして、生徒が元気で明るく楽しく学校生活を送ることを大切にしています。

さて、学校教育法の改正に伴い学校評価が義務付けられるようになりました。本校では生徒に「授業を受ける態度と学習についての自己評価アンケート」「学校生活についてのアンケート」とともに、授業科目ごとの「授業アンケート」を実施しています。なお、アンケートは、3学期に実施しており、高校3年生は卒業式を迎える直前で登校していないので、1年生・2年生を対象にしています。

2014年度のアンケート結果を踏まえて、その分析と今後の課題を明らかにします。

1. 「授業アンケート」の結果

「授業アンケート」の全教科の平均の結果は、別表の通りです。学校としてはさらにクラス・教科ごとに細かくまとめ、一人ひとりの教員に自らの研鑽の糧となるように、担当クラスごとに結果を返すようにしています。

「授業は分かりやすいですか」の問いには「分かりやすい」「どちらかという、分かりやすい」を併せると、高校1年生・2年生ともに8割台後半を超えており、また「授業は、先生の問いに答えたり発表したりするなど参加しやすいものですか」の問いにも「参加しやすい」「どちらかという、参加しやすい」を併せると、高校1年生・2年生とも9割前後という結果となっています。ほとんどの生徒が、授業に参加しやすい雰囲気の中で授業を受けるとともに、実際に授業に参加していることが実感できていると言えます。

その一方で、「この教科の内容は理解できますか」との問いには「理解できる」「だいたい理解できる」を併せても7割台から8割台ということになっており、授業を受けて分かりやすい、授業に参加していると実感している割合に比べ、1割程低くなっています。これは「この授業の勉強を日常していますか」との問いに、「ときどき」というものを含めても「日常している」という回答が3割に届いていないことの反映と言えます。

「生徒が主体的に学習に取り組むためにどのようにしていくのか」が本校の大きな課題となっており、引き続き取り組んでいきます。

2. 「授業を受ける態度と学習についての自己評価アンケート」の結果

日々の授業を受ける態度については、「チャイムが鳴ったら席に着く」「チャイムが鳴ってからトイレや忘れ物を借りに行かない」「教科書、ノート、教材を机の上に出している」「授業中にノートをとる」という項目に対して「守っている」「だいたい守っている」の回答を併せると、ほぼ9割になります。また、「姿勢を正して、授業を受けている」という項目には、「守っている」「だいたい守っている」を併せると9割台後半となります。

一方で、「授業中いねむりをしない」「私語をしない」という項目には、「守っている」「だいたい守っている」という回答は併せても6割台から7割台になり、実際の授業展開の中で集中力が切れてしまっているのではないかと考えられます。授業展開の工夫がさらに求められていると考えます。

また、学習についての自己評価では、「宿題や課題があればきちんと取り組んでいる」という項目では、「きちんと取り組んでいる」「だいたい取り組んでいる」と8割台後半の生徒が回答しています。与えられたことに対しては、きちんと取り組んでいるようです。

「生徒が主体的に学習に取り組めるようにしていく」ことについて、生徒の意欲を引き出す指導、授業展開の工夫や理解の遅れがちな生徒への対策とともに、日常的に宿題や課題を課すことを強めるようにしていきます。

3. 「学校生活についてのアンケート」の結果

「学校生活についてのアンケート」で、生徒が「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的な回答をしたパーセントは、2011年度からの4年間について、各項目で次のようになります。

	11年度	12年度	13年度	14年度
この学校は、いじめを許さないようにしっかり取り組んでいる。	78%	76%	81%	80%
この学校の先生は、生徒の悩みや相談に丁寧に対応してくれる。	76%	78%	80%	84%
この学校の生徒は、挨拶をきちんとしている。	80%	83%	86%	83%
この学校は、生徒が学校生活に積極的に参加している。	75%	76%	78%	80%
この学校の生徒は、遅刻しないように努力している。	61%	57%	60%	69%
この学校の生徒は、校則を守っている。	63%	51%	53%	61%
この学校は、生徒が掃除にしっかり取り組んでいる。	74%	74%	77%	80%
この学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる。	76%	78%	83%	92%
私は、進路について目標を持って毎日の学校生活を送っている。	63%	66%	70%	61%

「この学校は、いじめを許さないようにしっかり取り組んでいる」「この学校の先生は、生徒の悩みや相談に丁寧に対応してくれる」という項目で、肯定的な回答が高いパーセントを示しており、一人ひとりを大切にする丁寧な指導について信頼が寄せられていると言えます。

また、「この学校の生徒は、挨拶をきちんとしている」「この学校は、生徒が掃除にしっかり取り組んでいる」という項目でも、肯定的な回答が高いパーセントを示しており、朝の挨拶運動、清掃指導の反映と思われる。

さらに、「この学校は、生徒が学校生活に積極的に参加している」という項目でも、肯定的な回答が高いパーセントを示しており、このことが、クラブ活動への積極的な参加、梧桐祭（文化祭）・体育祭の盛り上がりとなって表れているように思われます。引き続き、積極性を育てる教育をすすめます。

「この学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる」という項目についても、肯定的な回答が高いパーセントを示しており、進路指導について信頼が寄せられていると言えます。しかし一方で、「私は、進路について目標を持って毎日の学校生活を送っている」という項目には、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を併せても、1年生では平均5割台半ば、2年生では平均6割台後半という結果に留まっており、「進路についての目標を持たせる」指導を強めていきます。

「この学校の生徒は、遅刻しないように努力している」「この学校の生徒は、校則を守っている」という項目には、肯定的な回答は6割台に留まっていますが、経年変化を見ると肯定的な回答が増えており、校則の遵守をはじめ規律ある日常生活を確立する指導を一層強めていきます。

「授業アンケート」「授業を受ける態度と学習についての自己評価アンケート」「学校生活についてのアンケート」に示された生徒の意識に注目して、そこに表れる課題を踏まえて、本校教育の一層の発展を図ります。

以 上